

産学官連携による空き家活用コーディネーター育成及び相談窓口構築事業 (佐渡市)

課題	市内における空き家件数が増加し、空き家問題が顕在化している。
目的	空き家活用コーディネーターを育成するとともに、案件ベースで対応できるコーディネーターを中心とした地域専門家との連携体制を構築し、空き家利活用を推進する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の専門家との連携体制構築 ・空き家トリアージの実施 ・空き家対策セミナーの開催 ・全国版空き家バンクの活用 ・コーディネーターの育成 ・相談事例のデータベース化 ・空き家リーフレットの配布
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの人材育成及び空き家相談時の窓口と地域専門家との連携体制の構築 ・空き家活用のための手法の確立（空き家トリアージ） ・空き家所有者への啓蒙活動および空き家情報の情報発信の強化

取組内容

●地域の専門家との連絡体制構築

宅建協会、建築業者、解体業者など空き家に精通した専門家との連携体制を構築

●コーディネーターの育成

地域おこし協力隊の2名から選出し、相談員育成カリキュラムを受講

●空き家トリアージの実施

空き家の活用、処分についてより掘り下げた具体的な内容を提案できるよう実施体制を構築

●相談事例のデータベース化

●空き家対策セミナーの開催

市内では初めて開催。空き家に対する啓蒙を実施

●空き家リーフレットの配布

●全国版空き家バンクの活用

佐渡市空き家情報システムとの並行稼働により情報発信の間口を広げ、所有者へのPR及び利用希望者からの問い合わせ増加を図る

◆空き家トリアージの実施



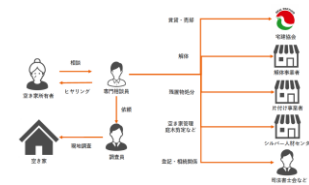
◆空き家対策セミナーの開催



主な成果

●空き家の相談窓口の構築

・空き家コーディネーターを育成し、相談・連絡体制を構築



●空き家対策セミナーの開催

・参加者: 38名

●空き家情報の情報発信強化

R3年度空き家情報

登録数: 36件

契約数: 34件(12月末現在)